

(様式第2号)

事業所名 グループホーム福寿荘

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 平成 28年 6月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	レクリエーションでは、体操や歌、脳トレなど行っている。また貼り絵などの制作にも力を入れているが、役割では家事の手伝い等、限られた利用者をお願いすることが多い。	一人ひとりの出来ることを見出し、張り合いや楽しいと感じてもらえる機会を増やすことができる。	・一人ひとりの生活暦を再度見直し、またご家族面会時に情報を頂き検討していく。 ・家事(食事の片付け、洗濯物、裁縫など)や趣味をレクリエーションに取り入れ実行する。 ・定期的なミーティングを持ち評価・修正していく。	12ヶ月
2	49	利用者の高齢化や認知症の進行などの状態変化に伴い年々外出の機会が減少し、地域とのふれ合いも少なくなってきた。	利用者が散歩等を通し、季節を感じながら地域の方々とふれ合う機会を得ることができる。	・年間計画の見直し ・散歩やドライブを月間予定に組み込む。 ・外出支援の一覧表を作成する。 ・地域行事の情報収集・他施設での行事への参加。	12ヶ月
3	13	職員を育てる取り組みは、法人全体では新任職員研修がある。また不定期に施設内で認知症介護の勉強会を行っているが、外部研修の頻度は少ない状況である。	認知症についての理解を深め、ケアの技術の向上に繋げることが出来る。また外部研修を受けることで自己研鑽し意欲を高めることができる。	・法人内の研修会への参加。 ・外部研修の情報の回覧し、調整を図る。 ・参加した研修内容を共有し、実践繋げる。	12ヶ月